

# 大谷学会 研究発表会

日時

## 10月25日(金)

13:00~16:10(開場12:30)

**入場無料・事前申込不要**

会場

### 大谷大学メディアホール (響流館3階)

〒603-8143 京都市北区小山上総町  
(地下鉄北大路駅6番出口すぐ)

会場  
案内図



▶ 13:10~

**加藤 丈雄 教授**【ドイツ文学】

**〈神あるいは自然〉**

—ローゼ・アウスレンダーの詩とスピノザ

第2次大戦を生き抜いたユダヤ系詩人Ausländerにとって詩を書くことは「生き延びること」と同義であった。その一方で、彼女は哲学、わけでもSpinozaの哲学に惹かれていたことも広く知られている。Ethicaの哲学者をプリズムにして、彼女の作品世界を読み解きたい。



▶ 13:50~

**乾 源俊 教授**【中国文学】

**条支と神龍**

最も早い李白文集の序文、李陽冰「草堂集序」に、先祖謫居の地が「条支」、帰還の年号が「神龍」と記される。その正否をめぐる従来議論が紛糾してきたが、これがどのような資料でどう読むべきかという視点から、解答を与えたい。



▶ 14:40~

**赤瀬 知子 教授**【国文学】

**宗祇の文学と『名所和歌抄出』**

—典拠と創作—

連歌師宗祇の文学がいかに生み出され完成されるに至ったかは今日でもなお解明されていない。注目すべきは『名所和歌抄出』という歌集である。無名の歌集が創作の典拠に用いられ彼の文学に影響を与えたことを詳しく論じたい。



▶ 15:20~

**ダシュ ショバラニ 准教授**【インド学・仏教学】

**五障と變成男子をめぐる諸問題**

「女性も仏になれるのか?」という問いに対して先ず生じたのは「五障」という問題である。それを回避するために大乘仏典は「變成男子」という方法を考え、「女人成仏」を主張する。本発表では、五障と變成男子の思想がどのように成立し展開したかに関する様々な問題点を整理し、検討する。



お問合せ先

大谷大学教育研究支援課 TEL:075-411-8161 E-mail:o-gakkai@otani.ac.jp

詳しくは大谷大学のWebサイトをご覧ください。

大谷大学

検索